

分野別 令和元年度のまとめと令和2年度の取組について

【栄養・食生活】

～ 目指すまちの姿 ～

バランスのとれた食事を規則正しくとる，
「健康的な食習慣の定着」に取り組むまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ 特定保健指導については，特定保健指導の実施率が6.0ポイント上昇しています。対象者一人当たりの指導期間を従来の6か月から3か月に変更したこと，集団健診の保健指導は健診当日と健診結果が出揃ってから結果説明日に分割して実施する方法を導入し，健康への関心が高い時に保健指導を開始できたことが要因と考えられます。
- ◆ へるすアップ相談のような個別の支援に加え，健康づくり普及啓発事業にて，ポピュレーションアプローチを実施し，参加者が増加しています。
- ◆ 母子保健事業やフレイル予防事業等乳幼児から高齢者まで幅広い世代に対し，事業を展開しました。
- ◆ 母子保健食育では，3歳児健康診査時に把握した主食・主菜・副菜をそろえた朝食の割合が低下しています。バランスの良い食習慣の啓発，多様な食習慣に配慮した食に関する支援が必要であると考えます。
- ◆ 児童・生徒の肥満の状況について，小学生および中学生の肥満の割合は上昇しています。学校においては，栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭が連携し，健康な生活習慣を習得するための食育の授業実施に取り組んでいますが，食生活だけでなく，運動量も含めた生活様式についての多様化が考えられます。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ 母子保健事業等を通して妊娠期から乳幼児期の食への関心が高まる時期に，各事業を通じてバランスの良い食事について啓発を実施していきます。
- ◆ 学校給食提供事業については，新型コロナウイルス感染症の対策を鑑みて，可能な限り生きた教材としての給食実施を検討し，授業だけではなく，資料の提供や短時間での栄養指導など，指導方法を工夫し，児童生徒に対し指導を実施していきます。
- ◆ 働く世代への働きかけとして，給食施設に対する栄養管理指導の充実及び利用者への啓発，地域・職域連携推進協議会等を活用した職場における健康づくりの普及啓発や事業連携等の推進を図ります。
- ◆ ポピュレーションアプローチを推進すると共に，へるすアップ相談や

特定保健指導も充実させ、ハイリスクアプローチも実施してまいります。

【身体活動・運動】

～ 目指すまちの姿 ～

自分の体力にあわせて楽しく運動を続けられるまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ フレイル予防事業（ロコモフィットかしわ）の参加者は増加しています。この事業は、講座終了後に自主グループが立ち上がり、ロコモ予防に継続的に取り組む市民の増加につながっており、地域に根付いた事業となっています。
- ◆ スポーツ関連団体や柏市体育協会等と連携してスポーツ教室・講習会・スポーツ関連イベント等を開催し、参加者数は増加しています。
- ◆ 学校体育の促進関連事業として実施する「新体力テスト」では国や県の水準から下回る種目が多くなっており、早い時期からの体力確保の取組みが重要となっています。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ フレイル予防事業については、4月からスタートした柏市フレイル予防ポイント制度について、事業拡大や民間企業と進めるフレイル予防の可能性検証などより幅広い展開に取り組めます。
- ◆ 日常生活での活動量を増やすには歩数を意識することが効果的であり、ウォーキングパスポートの利用促進等を図っていきます。
- ◆ 既存のスポーツ関連の事業については、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から中止となった事業も多くあります。日常生活の中で運動を意識し、取り組む機会が作れるよう、イベントではない方法で、何か仕掛けることが必要であると考え、市民に対し周知・啓発を検討していきます。

【休養・こころの健康】

～ 目指すまちの姿 ～

こころの健康を保ち，すっきりした気持ちで
明日を迎えられるまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ こころの健康に関する相談支援や出前講座・市民講座等による啓発を継続的に実施しました。相談件数は増えており，ニーズの高さが伺えます。
- ◆ こころの健康相談の利用者が増え，特に職員による面談や訪問（延べ人数）電話相談が増えています。
- ◆ 自殺者数の数は，令和元年は未確定ですが，年々上昇しています。「柏市自殺予防対策計画」に基づき，事業の実施・情報共有を行っています。
- ◆ 妊娠時・乳児期・学童期等ライフステージのそれぞれのタイミングで個々の状況の把握に努めています。適切な時期に，必要な関わりを持つことで，予防につながっていると考えます。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ こころの健康に関する相談支援や出前講座・市民講座等による啓発を継続するとともに，精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについての講演会等を検討し，システムの構築を推進していきます。
- ◆ こころの健康相談は，安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り，体制づくりを行っていきます。
- ◆ 自殺予防対策連絡会議を開催して関係団体との連携を推進するとともに，自殺対策関係部署による庁内連絡会議を通して全庁的な取組みを進めます。また，「柏市自殺予防対策計画」に基づき，柏市の自殺の特性を踏まえ，事業の実施・情報共有を行い，対策を推進していきます。

【喫煙】

～ 目指すまちの姿 ～

喫煙や受動喫煙による健康被害を防止するまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ タバコ対策は、柏ノースモッ子作戦協議会を年2回開催し、活動の一環として、関係団体と連携し、前年度から継続し、小中学校における防煙教育等を実施しております。小中学校の児童生徒を対象とした出張講座を令和元年度より対象者を、子どもたちに携わる大人たちにも拡大し、研修会等で活用できるよう事業の拡大を図っています。また、乳幼児についても保護者向けのリーフレットを配付し、啓発に努めています。
- ◆ ポイ捨て等防止事業では、パトロール補助員を増加し、取組みを強化させた結果、過料徴収が増加しています。過料が増加していることは、一概に良いとは言えませんが、喫煙者の路上喫煙等を抑止する一旦になっていると考えられます。
- ◆ 健康増進法の改正（令和2年4月施行）に基づき、職場、飲食店、家庭における受動喫煙防止に向け、普及啓発の推進に努めました。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ 禁煙希望者への支援として、禁煙マップを作成し、市内の禁煙外来医療機関及び禁煙支援薬局の周知を継続します。
- ◆ 柏ノースモッ子作戦として、引き続き学校でのたばこに関する教育を関係機関と連携し、推進します。
- ◆ 健康増進法の周知徹底および市内の飲食店・事業所等での受動喫煙防止の徹底を目指し、禁煙を実施する飲食店の支援を検討します。
- ◆ 健康増進法に反する施設等に対し、助言等を行います。
- ◆ たばこの害について、妊娠中も含め全世代、正しい知識の普及のため周知・情報発信に努め、禁煙・受動喫煙の防止に向けた働きかけを行っていきます。

【飲酒】

～ 目指すまちの姿 ～

多量飲酒による健康被害を防止するまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ ハイリスクアプローチとして、アルコールに関する相談，減酒プログラム等支援を継続的に実施しています。アルコール家族教室参加者は増加しているものの，他の相談者は減少しています。
- ◆ ポピュレーションアプローチとして，リーフレット等を配付し，啓発を行っています。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及に向け，保健事業や地域活動，各種イベントで，啓発を推進します。
- ◆ 地域・職域連携推進協議会等を活用し，働く世代への情報発信に取り組めます。
- ◆ 適正飲酒に関する啓発の強化に加え，必要に応じて適切な相談・支援につなげていく関係機関との連携推進を検討します。

【歯・口腔の健康】

～ 目指すまちの姿 ～

生涯を通じて自分の口で食べることができ
その人らしい生活ができるまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ 「歯っぴいカムカムかしわっ子作戦！」として、小学校、中学校の児童・生徒及び保護者に対し、むし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導を行った結果、12歳児の健歯者率が2.0ポイント上昇しました。3歳児健診の健歯者率も改善しており、フッ化物活用に関する啓発等、むし歯予防の強化を図ったことが要因のひとつと考えられます。
- ◆ 歯周病検診事業、かしわ歯科相談室等で個人の口腔状態を確認する機会を提供しています。かかりつけ歯科医の推進や定期健診の定着化につながっています。
- ◆ ポピュレーションアプローチとして若い世代からの歯周病予防の推進を図るため、職域や関係機関と連携した取り組みを実施しています。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ 乳幼児期からむし歯予防を推進するため、母子保健事業を通じた、啓発を継続していきます。
- ◆ 若い世代からの歯周病予防を推進するため、かかりつけ歯科医の推進をさらに強化し、定期的なプロフェッショナルケアの定着により、個々の口腔内の状況に合った口腔ケアを継続することで口腔機能の向上を目指します。

【糖尿病】

～ 目指すまちな姿 ～

生活習慣を整えて，糖尿病の発症及び重症化を防ぐまち

【循環器疾患】

～ 目指すまちな姿 ～

生活習慣を整えて，循環器疾患の発症及び重症化を防ぐまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ 特定健康診査・特定保健指導，柏市健康診査等を通して，自身の健康を確認する機会を提供しています。特定健康診査の受診率は上昇しており，疾病の発見・予防につながっています。
- ◆ 特定保健指導実施率は，6.0ポイント上昇しています。特定保健指導実施率の向上については，実施方法の工夫や利用勧奨等の取り組みの成果によるものと考えられます。リスクが高い者に対し，個別に支援することで，糖尿病や循環器疾患の発症，重症化を予防につながっていると考えられます。
- ◆ 特定健康診査の結果では，メタボリックシンドローム及びメタボリックシンドローム予備群の割合が上昇しています。糖尿病のみならず生活習慣病の発症，重症化を予防する取組が重要となります。
- ◆ 生活習慣病等で治療中の市民が，かかりつけ医の紹介で市内の病院で管理栄養士の栄養相談を受けられるシステムを実施しています。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ 糖尿病や循環器疾患の発症，重症化予防につながる健康的な生活習慣の実践に向け，生活習慣に係る各分野の取り組みを推進します。
- ◆ 柏市国民健康保険の被保険者については，特定健康診査の受診率および特定保健指導の実施率向上に努めます。また，柏市健診の受診者の増加に努めます。
- ◆ 柏市地域栄養相談システムの効果的な運用に向け，関係機関との協議，連携を継続します。
- ◆ 慢性腎臓病対策としてかかりつけ医と腎専門医による病診連携システムの体制整備を図ります。

【がん】

～ 目指すまちの姿 ～

生活習慣を整えて，がんの発症を防ぐまち
がんの早期発見・早期治療を促進するまち

(1) 令和元年度のまとめ

- ◆ がん検診については，登録勧奨やナッジ理論を用いた受診勧奨を実施し，効果が見られました。
- ◆ 胃がん検診は，がん発見率の高い内視鏡受診の比率を向上させるため，胃内視鏡検査を推奨している内容の周知を行い，効果が見られました。
- ◆ がん検診については，ここ数年で受診方法や受診間隔等が変更しており，大きく受診率が変動している状況があります。

(2) 令和2年度の主な取組

- ◆ がん検診受診率向上のため，効果が確認された受診勧奨の方法については，継続して実施していきます。
- ◆ リスクが高い状況である精密検査未受診者については，本人からの申告だけでなく，返信用はがき等を用いて，精密検査未受診者の受診状況の把握に努めます。
- ◆ がん対策検討会議による関係機関間の情報共有を進め，がんになっても安心して暮らせるよう，相談窓口や患者会など地域における支援に関する情報提供を行います。